

愛知淑徳大の授業に協力

ICDAHD

【四日市】ホンダなど自動車販売店を展開するICDAホールディングス（HD、本社鈴鹿市、向井弘光社長）は17日、愛知淑徳大（名古屋市）の授業に協力した。社会貢献活動の一環。会社説明を行った。

授業名は「企業分析プロジェクト」。ビジネス学部



事業内容を紹介する服部管理部長

当日は、三浦克人教授の授業に参加。同社の服部室管理部長が講師を務め、19人の学生を前に講義した。新車・中古車の販売から、中古車買い取り、アフターサービス、リサイクルまでをグループ全体で手掛けて収益機会を最大限引き出す

ビジネスモデルが強みであると解説。2024年3月期中間決算の概要や成長戦略なども紹介した。続けて、子会社のマーク・コーポレーション（本社鈴鹿市）が手掛ける使用済み車両のリサイクル事業について、リサイクル工場の

「鈴鹿オートリサイクルセンター」とオンラインで結び、事業内容を紹介した。学生は今後、五つのグループに分かれ企業分析を深めていく。来年1月の最終発表会で、向井社長ら同社関係者の前でプレゼンテーションを実施する予定。